

2011年3月1日

開講機関:主婦連合会・独立行政法人製品評価技術基盤機構

主婦連合会 佐野 真理子

(独)製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 松崎 寿

1. 教育活動の趣旨

主婦連合会は、製品の安全性確保や表示の適正化など、消費生活の「安全・安心」を求め、消費者への情報提供などに取り組む消費者団体である。安全の確保では、製品に使用される化学物質のリスクに目を向け、そのリスク回避のあり方などにも注視する必要があることを訴えてきた。消費生活の中での身近な問題として、化学物質とどのようにつきあうか、その管理の問題を考えていきたい。

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質管理センターは、経済社会の発展と国民生活の安定を支える技術的な基盤の整備を目的とした化学物質総合管理のナショナルセンターとして、国・地方自治体、研究機関、民間企業、消費生活者などすべての関係者に対し、化学物質に関する科学的知見や法令・国際ルールに基づいた技術・情報面からのサポートを行っている。

化学物質は我々の生活を便利で豊にしている一方、使い方を誤ると、ヒトの健康や環境に対して悪影響を及ぼすおそれがある。化学物質の利便性を有効に活用し、また持ち合わせる危険性も考慮しつつ、安全な社会生活を過ごすためには、どのように化学物質と付き合いやすいのかということ、本講座を通じ、社会人の方々に理解していただくことは、とても有意義な活動となると考えている。

2. 2011年度の開講内容及び目標と課題

2011年度前期(4月12日～7月26日)に、化学物質に関するリスク評価とリスク管理に関わる1科目15講義(FT125 化学物質総合管理特論)を、主婦会館で開講する。

講師は、NITE化学物質管理センターの職員が中心となり、化学物質のリスクとは何か。そのリスクを評価、管理するとはどのようなことか。リスクを解析する科学的な手法をはじめ、その背景となっている考え方、化学物質管理制度、諸外国の状況などにも言及しつつ化学物質のリスク評価の全体像を解説する。

3. その他、抱負や提案など

NITE化学物質管理センターとしては、初めての開講であり、リスクに基づく化学物質管理の重要性について一般市民の方々に理解していただけるように、できるだけわかりやすく解説していきたいと考えている。

以上